

AI Technologies and Solutions

最先端画像解析AIにより高精度な 防犯/不正検知を実現

富士通は、生成AIや行動認識AI、需要予測などの様々な業務特化型AIで、日常生活における利便性向上や人の能力・経験知の向上につながる新たなサービス・事業の創出をサポートします。

行動認識AIの一つとして、セルフレジ利用者の不正アラートを高度で正確かつリアルタイムに提供します。セルフレジ利用による損失削減および従業員の作業管理工数削減に貢献し、持続可能な店舗経営を実現します。



セルフレジ不正による損失の削減
AIによるソフトな介入により不正行為を特定し、未然に防止



管理コスト削減
従業員の管理作業が最小限に
(セルフレジ映像の確認時間を最大50%以上削減)

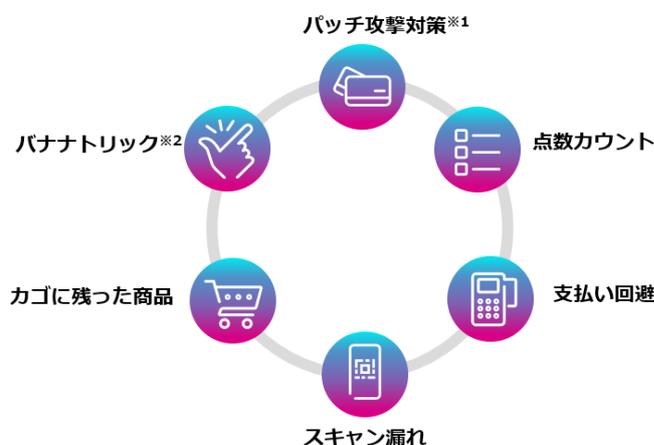


消費者の満足度向上
セルフレジ映像とPOSデータのマッチングにより高精度に不正行為を検知するため、セルフレジでの不要な干渉が減少

提供機能

量販店の店舗における損失率（消費者や店員による万引きや不正を含む）は店舗売上の1~3%程度となっており、特に食品店で普及しつつあるセルフレジのロス率は、従来のレジに比べて高くなっています。このような状況で、セルフレジのロス率を抑制する仕組み作りが求められている一方、従業員はお客様対応や現場および監視カメラ映像の確認、データ分析、新システムへの対応などさまざまな作業負担があります。

本サービスは、検証業務の信頼性を高め、検証業務に従事する作業者を支援するオールインワンのソリューション群です。富士通Uvanceの最先端映像解析AI技術「Fujitsu Computer Vision」を活用し、人の行動を高精度に認識することで、高精度な情報収集、データドリブンなプロセスを通じお客様の高度な意思決定とビジネスモデルの変革を支援します。



※1 別商品のバーコードをスキャンし、本来買う予定の商品をごまかす行為
※2 顧客自身で製品を選択し会計する際により安い製品を選択する行為

特長

カメラデータからの最先端映像解析AI技術を活用した「セルフレジ映像解析」、富士通の独自技術を使用した「POSデータ分析」により、リアルタイムな消費者不正の検出と、セルフレジ監督者によるデータに基づく不正を確認が可能です。



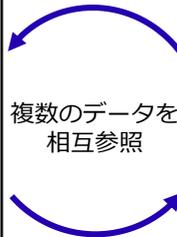
- セルフレジ利用者の不正を阻止・検知
- 物体のカテゴリ認識
- セルフレジ管理者用ダッシュボード

セルフレジ映像解析

- 映像から人の様々な行動を認識する、導入が容易なAI技術
- 物体のカテゴリ認識
- 日本の様々な小売ブランドにおける消費者行動のモニタリング

POSデータ分析

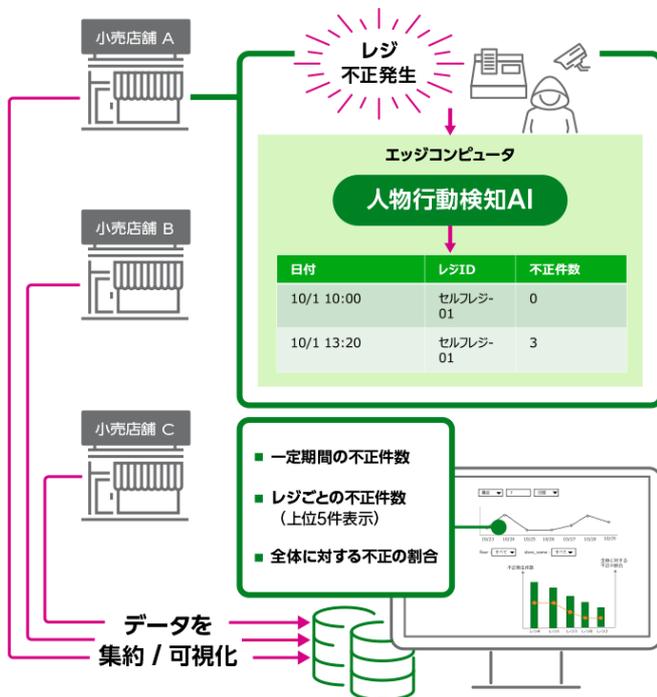
- AIカメラによるリアルタイム分析とスキャンデータの連携により、セルフチェックアウトでのロスを防止
- ロス防止による店舗側の売上、利益の保護
- 店舗の生産性向上、消費者の買い物体験向上



稼働中の監視カメラと、利用しているパソコン・タブレット端末へのソフトウェアインストールにより短時間での導入が可能



ユースケース



課題

- 小売店舗を統括する本部やエリアマネージャーなどが、不正検知の全体傾向や店舗ごとの傾向を把握する必要がある

ソリューション

- エッジコンピュータ環境で人物行動検知AIによってレジ利用者の不正件数を統計情報として出力
- 出力した情報をクラウド側に集約し、レジごとの不正発生件数を集計

効果

- 店舗ごとの不正検知データを可視化
- 不正検知対策強化を実現し、売上/利益を向上

お問い合わせ先

Fujitsu-Human-Motion-Analytics-for-Trust-catalog-jp-v1.0

富士通コンタクトライン（総合窓口） 0120-933-200

受付時間 9:00～12:00および13:00～17:30（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

[お問い合わせフォーム](#)

